

4 . 7月18日～19日の集中豪雨による災害

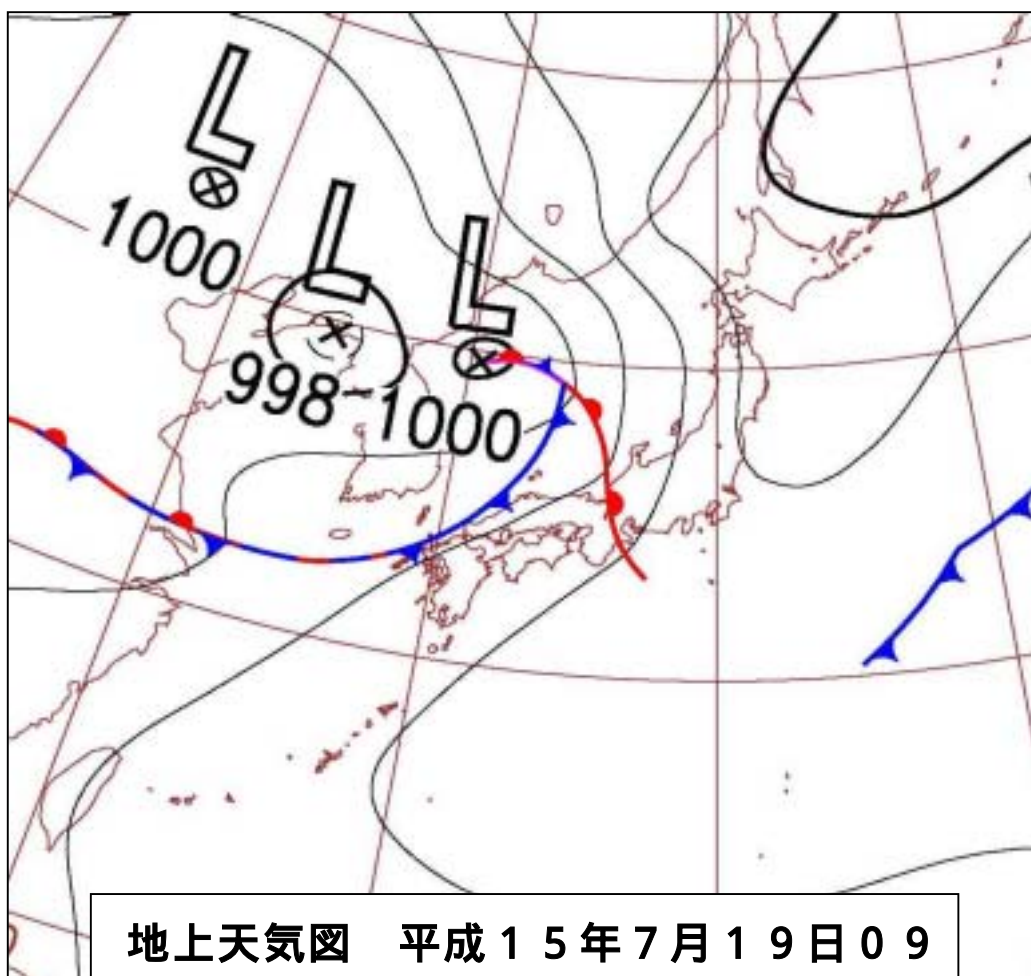
(1) 気象概況

ア . 天気概況

17日には九州の南海上にあった梅雨前線が活発化しながら九州を北上し、福岡県では18日夕方から断続的に非常に激しい雨が降った。19日は対馬海峡まで北上した前線が再び南下、明け方にかけて飯塚市や太宰府市を中心に猛烈な雨が降り、記録的な豪雨となった。特に飯塚と太宰府で観測した日降水量と1時間最大降水量は観測開始以来の記録を大幅に更新した。

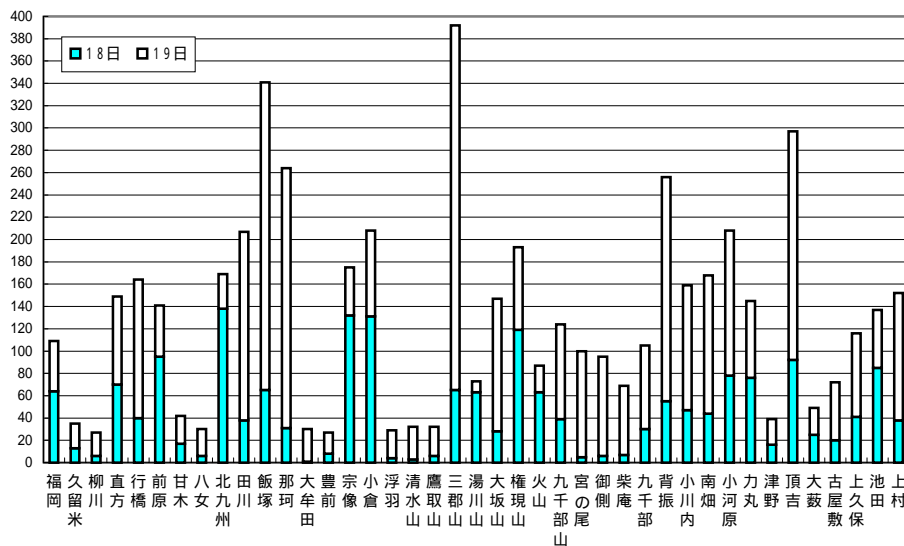
18日の日降水量の多い地点は、宗像 148mm、八幡 125mm、頂吉 95mm、前原 94mm など。19日の日降水量の多い地点は(括弧内はこれまでの1位の記録)太宰府 315mm(214mm)、飯塚 267mm(226mm)、頂吉 211mm、行橋 130mm、篠栗 77mm などであった。

また1時間降水量の多い地点は(括弧内はこれまでの1位の記録)太宰府 104mm(77mm)、飯塚 82mm(60mm)、頂吉 73mm、行橋 55mm などであった。



ウ. 降水量(平成15年7月18日～19日)

単位:mm



エ. 降水量分布図

